

令和6年度 中野区立緑野中学校 学校経営計画

中野区立緑野中学校
校長 尾石 智洋

はじめに

学校教育の目的は、現在と未来に向け、一人一人が、自らの可能性を最大限に発揮し、自らの人生を切り拓き、よりよい社会と幸福な人生を自ら創り出す「良き社会人」を育てることである。本校はこれまでに、人権尊重の精神を基盤として、生徒が集団の中でよりよい人間関係を築きながら、「正義の通る集団」として、互いに高め合う教育活動を行ってきた。また、地域交流ボランティア活動等を通して、地域や社会に貢献する人の育成に努めてきた。緑野中の校風を守り、新たな伝統を築くため、地域・保護者、関係小学校及び関係機関等と協力して、教育目標の達成に向けて教育活動を進めていく。

1 教育目標

探求 創造 共生

【知】 確かな学力を身に付け、かしこく生きる生徒

【徳】 豊かな心をもち、やさしく生きる生徒

【体】 健やかな体をもち、たくましく生きる生徒

2 目指す生徒像

(1) 自己実現に努める生徒（生き方の探求）

- ・生徒の夢や理想を大切にして、教師がそれを温かく受け止めて、その実現に向け励まし、支援していく教育を行う。
- ・学習、学校生活、キャリア形成について、自分の意思で決められる自己決定能力を育成する。

(2) 主体的に学ぶ生徒（豊かな未来の創造）

- ・学習に対して、自らの意思や判断で決めて取り組む力を育てるとともに、生涯にわたり学習を続けていく態度を育成する。
- ・自己や地域社会、国や世界の課題について、自分の考えをもち、解決に向けて前向きに行動できる「良き社会人」を育成する。

(3) 励まし支え合い、高め合う生徒（よりよく生きるための共生）

- ・気持ちの良いあいさつを交わし、互いを尊重する心を育む。
- ・生徒が互いに助け合いながら、何かを達成していく場面を設定し、自然に他者を気にかけてながら、すべての生徒が生活しやすい学校をつくっていく。
- ・感謝と思いやりの気持ちを忘れずに、互いに高め合える人間関係能力を育成する。

3 目指す学校像

(1) すべての生徒が緑野中に自信と誇りをもてる学校

- ・各教科等で、「力の付く授業」、「学びがいのある授業」を行い、確かな学力の定着を図る。
- ・学校生活で身に付けた力を活かせる行事や体験活動、社会との関係を実感できる活動を推進していく。

(2) 地域・保護者から信頼される学校

- ・保幼小の連携を通して、生徒の健康・安全を守り、豊かな心を育み、保護者が安心して通わせられる学校をつくる。
- ・地域・保護者に学校の様子を公開するとともに、地域・家庭の要望を的確に把握して、迅速かつ誠実に対応する。

(3) 組織的に課題解決ができる学校

- ・いじめ・不登校、学力向上、特別支援教育等の諸課題について、学校・家庭・地域・関係機関が協働して対応できる組織体制を確立する。

4 指導の重点

【探求】

(1) キャリア教育の充実【知】

- ・一人一人の社会的・職業的自立が図られるよう基礎的・汎用的な「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の育成
- ・地域交流ボランティア活動、職場体験等を活用して、主体的に自己決定し、粘り強く自己実現できる力の育成

(2) 個性の伸長【徳】

- ・自分自身のよいところに気付かせる指導の徹底と、ありのままの自分を大切に思える自己肯定感の育成
- ・学校行事の充実による望ましい人間関係の形成と集団の一員としての自覚

(3) 緑野中文化の探求【体】

- ・あいさつ、言葉づかい、学校生活のルールが守れ、望ましい生活習慣を確立し、全ての生徒が誇りに思える学校
- ・生徒会活動等による学校生活環境の向上、地域や異年齢集団との温かな交流、地域から愛され、期待される学校

【創造】

(1) 基礎学力の定着【知】

- ・指導と評価の一体化による「分かる授業」の実践
- ・学校図書館での自習環境の整備と補充教室の充実による主体的な学習習慣の確立
- ・学習 e ポータルの活用等による家庭学習の充実

(2) ICT 教育の推進【徳】

- ・生徒の情報モラルを含んだ情報活用能力の育成
- ・生徒の興味・関心を高め、学力を付ける ICT を活用した効果的な授業実践

(3) 健康・安全な学校【体】

・防災・安全教育、食育・健康教育の充実、教育相談活動、健康相談活動の充実し、社会の変化に対応できる力を育成

- ・SNS 等の正しい使い方、情報モラルを身に付け、安心・安全な生活を築く

【共生】

(1) 社会で生きる確かな学力の定着【知】

- ・主体的・対話的で深い学びを重視した授業の実践
- ・読書活動の推進による言語能力の育成、問題・課題解決的な授業の創造、基礎学力の定着
- ・あらゆる教育活動におけるユニバーサルデザイン化の推進

(2) 道徳教育の充実【徳】

- ・生命尊重、思いやりや感謝の心を育てる道徳教育の充実
- ・人権教育の徹底といじめや不登校への早期対応、規律正しい学校の確立

(3) 生涯たくましく生きる【体】

- ・学校行事の活性化、地域交流ボランティア、職場体験等の体験活動の充実
- ・基礎体力の向上、部活動・地域クラブ活動との組織的対応
- ・学校、保護者、関係機関と連携した組織的な特別支援教育の体制づくり、個に応じた指導体制の確立
- ・不登校生徒への居場所づくりや学校図書館を活用した生活しやすい環境の整備、コミュニケーション能力の育成

5 今年度の重点と具体的な指導

(1) 生徒の個性の尊重

- ・一人一人の個性の発見と、良さや可能性の伸張を図る
(スモールステップでの的確な目標設定と個々への適切な助言)
- ・子供の権利の尊重と過ごしやすい環境作り
(生徒指導提要改訂に基づく校則の見直し、ユニバーサルデザインの推進、不登校対策、キャリア教育の充実、個に応じた進路指導)
- ・誰一人取り残されない「重層的な支援」
(課題の未然防止教育、課題の早期発見対応、困難な課題への組織的な生活指導)

(2) 主体的・対話的で深い学びの実施

- ・授業と評価の一体化
- ・カリキュラムマネジメントの実施
- ・ICT を有効活用した授業の展開

6 学校運営に関わること

(1) 教師として

- ・生徒の人権を尊重しながら、常によりよい教育活動を目指す。
- ・生徒がねらいを理解し、主体的に取り組むことができる教育活動を展開する。
- ・組織の一員としての自覚をもち、教育公務員として適正な考えと態度を身に付ける。

(2) 教師集団として

- ・言葉や表現を大切にする集団
- ・互いの良い点を認め尊重しながらも、課題を指摘しあえる集団
- ・働き方を改善する意識をもち、仕事にメリハリをつけることができる集団
- ・困難な状況にあっても、なすための知恵に時間を使う集団
- ・一体感と同僚性のある学校集団